



さんが

第一〇一号

平成 三一年

西暦 二〇一九年

春彼岸 三月号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一

TEL 〇七五-六三一-二二七二

FAX 六三二-五七二五

E-MAIL sanga@tounji.net

たいへん失礼ながら、みなさまは、
食事の前に手を合わせ、「いただきます」
と、口にされているでしょうか。

私も、家の中ではちゃんとできます。

外でも、誰かといっしょだと、きちんとできます。

でも外で一人だと、すぐ忘れます。

これぐらいのことができなくてどうするのだろう、と
正直思います。

「いただきます」と言うのは、「食材の命をいただくの
だ」と聞いたことがあります。

私たちにとって食事は、より良く生きようとするため
にも、欠かせない営みですね。

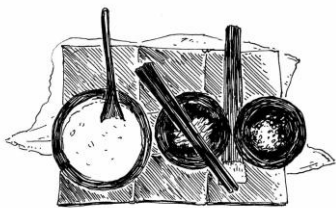


曹洞宗をお伝えになった道元禅師も、食事をたいせつ
な修行とお考えになっていました。

その証拠に、食事を作る心構えや、食事をいただく心
構えをしるした書物まで残されています。

それぞれ、『典座教訓(てんぞきょうくん)』と、『赴粥
飯法(ふしゆくはんぼう)』といったタイトルが付けら
れ、今でも永平寺などの道場では、その教えに則って食
事を行っています。

とくべつなことではない、ふだん毎日を生きる中にこ
そ、本当にたいせつなものがあるという、信念をお持ち
だったことがわかります。



「応量器(おうりょうき)」

禅僧が道場で使う食器です。

「ライン@」 始めています

曹洞宗東運寺



東運寺のホームページでは、フェイスブックなどを使って、日常のことを書いています。そしてこの度、「ライン@」での更新も公開することにしました。

現在は週一回ほど（日曜日の夜）のペースで、かんたんなメッセージをお送りしています。

「ライン」をお使いのみなさま、どうか友だち登録してみてください。右のQRコードより、お入りください。

お忘れもの お預かりしています

お正月のお忘れものと思われるかもしれませんが、お墓入り口の女性お手洗いにありました。

茶色い巾着袋で、中にはお線香などが入っています。

お寺にてお預かりしています。お心当たりの方は、どうかお尋ねください。



修復の工事が始まっています

昨年九月の台風二十一号では、関西を中心に大きな被害がもたらされました。お寺でも、本堂や外通路の瓦が落ち、白壁が剥がれるなどの影響がありました。

修復はまず、倒れた樹木や垣根の整備が昨年末より始まり、年明けには終了いたしました。

つづいては屋根瓦や外壁ですが、職人さんの手配がなかなかつかず、とりあえずブルーシートで養生する状態が続いております。お墓参りの方には、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。もうしばらくお待ちください。



いよいよ、あとひと月あまりで平成も終わります。

みなさまにとつて、どのような三十年間でしたか？大きな災害、世界の不安定な揺れは、これからも続いていくことでしょう。それでも、私たちは毎日を生きていきます。身心どうかお気をつけて、新しい時代をお迎えくださいますように。



↑ ホームページこちらからも

東運寺ホームページは→